学校番号	３２０

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史　改訂版（山川出版）						
副教材等	明解世界史図説エスカリエ十二訂版（帝国書院） 詳説世界史　改訂版　10 分間小テスト（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史的な見方や考え方を深化させ、歴史的思考力を培うことを目指している。
そのために生徒の発想や見方、疑問をもとに生徒自らが主題を設定し、これまでに習得した世界史の知識、技能を用いながら、歴史的観点から諸資料を活用して主体的に考察する活動を授業に取り入れる。この活動を通じて歴史的思考力を培い，言語活動の充実を図ることを期待している。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性･複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見いだし，文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的･多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント・発問	発問・定期考査・授業プリント・発表	授業プリント・定期考査・発問	発問・定期考査・小テスト･授業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
maru	アジア諸地域の繁栄	・中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 ・清朝が形成した広大な領域支配やその社会・文化とともに，東アジア世界の動向を理解する。 ・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。 ・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化，東南アジア交易の発展を理解する。	○ ○ ○		○ ○	○ ○ ○ ○	a朝の経済的繁栄と銀経済の進展，科学技術への関心を特色とする文化活動について関心を持って学習しようとしている。 aわゆる鎖国体制をとった日本の対外関係の実態を確認しようとしている。 a代の中国とチベットや琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向に関して，関心を持って学習しようとしている。 明朝が近隣諸国との間に築きあげた冊封＝朝貢体制の変化を，日本や女真などの動向を中心とした東アジアの状況と関連付けて考察し，文章にまとめる。 ｃ教科書に掲載されている清朝の領域図や周辺諸地域図，チベットや琉球の図版などを適切に活用している。 ｄ明朝の発展による朝貢世界の確立とその動揺に関する基本的な知識を身につけている。 日本や女真を中心とした東アジアの状況の変化に関する基本的な知識を身につけている。 ｄ清朝の中国統治や宣教師によってもたらされた文化の特色，清朝の隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 プリント 発問 小テスト

1学期期末	アジア諸地域の動揺	・西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革，アラブ諸民族の覚醒，イラン・アフガニスタンの動向を理解する。 ・インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革，日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について，関心を持って学習しようとしている。 a ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化について，関心を持って学習しようとしている。 b 西アジアでイスラーム教の伝統に回帰する動きやアラブ人のナショナリズムの萌芽がみられたことを，上からの近代化と比較しながら考察し，文章にまとめる。 b インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由を，ヨーロッパ勢力の進出と国内情勢の双方の視点から考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているインド・東南アジアの植民地化を示す地図，図版や写真などの諸資料を適切に活用している。 d オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折，アラブの民族運動，イラン・アフガニスタンの対応に関する基本的な知識を身につけている。 d イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 プリンと 発問 小テスト

2学期中間考査	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 ・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と，従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で，労働運動が高まりを見せるなど，国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 a欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦に繋がる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b19世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されているアフリカ植民地化の地図や，アメリカの対外進出の関連地図，同盟・協商関係図，図版などの諸資料を適切に活用している。 d帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。 d欧米列強のアジア，アフリカ，太平洋地域，ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身につけている。 d列強の二極分化の過程とバルカン半島をめぐる危機の高まりに関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 プリント 発問 小テスト

2学期末	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20 世紀の変動の機転となったことを理解する。 ・国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。 ・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。	○ ○ ○	○ ○	○ 	○ ○ ○	a 第一次世界大戦勃発の経緯，戦時外交と総力戦の性格について，関心を持って学習しようとしている。 a ソ連邦成立に至るロシア革命の進展を，関心を持って学習しようとしている。 a 戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について，関心を持って学習しようとしている。 b 第一次世界大戦の原因や性格について，これまでの戦争との違いを多角的に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域をあらわす地図，新兵器などの図版を適切に活用している。 している。 d 第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。 d ロシア革命の展開とソ連邦の成立過程に関する基本的な知識を身につけている。 d ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	定期考査 プリント 発問 小テスト 発表

3学期学年末考査	冷戦と第三世界の独立・現在の世界	・第二次世界大戦後，米ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 aアジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して，関心を持って学習しようとしている。 b親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化と，アメリカ合衆国の西ヨーロッパへの経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察し，文章にまとめる。 cアジア諸地域で推進された民族運動と干渉国の関係を多角的に考察し，追究している。 c教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図，冷戦時代の諸同盟図，第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 プリント 発問 小テスト 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。